

# 福祉サービス 第三者評価受審のご案内

利用者の安心・信頼  
職員の意欲向上・意識改革を導く

福祉サービス第三者評価とは

福祉サービスの質の向上に取り組む施設の応援団です！

事業者及び利用者以外の公正・中立な第三者機関が評価調査表を用いて調査を行い、事業者の提供する福祉サービスを専門的かつ客観的な立場から総合的に評価し、その結果を公表することです。

※格付けや順位づけ、あるいは指摘や指導をするものではありません。

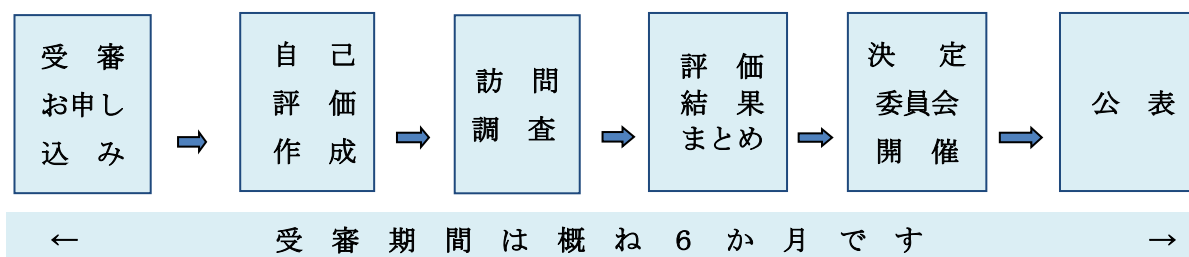
◆介護保険法改正により、平成18年4月から開始された「介護サービス情報の公表制度」は、事業者の情報開示のため、どのようなサービスを提供しているかという「機能の評価」であり、第三者評価ではありません。第三者評価は「質の評価」です。

## 第三者評価を受審すると

- ☆ 施設・事業所の取り組みや成果が明らかになります。
- ☆ 「振り返り」ができ、質の向上への気づきが得られ職員のやる気(向上心)を促します。
- ☆ 利用者・地域との信頼関係構築に役立ちます。

福祉サービス第三者評価機関  
「公益社団法人 神奈川県介護福祉士会」  
☆かながわ福祉サービス第三者評価推進機構  
認証第22号  
☆全国社会福祉協議会・社会的養護関係施設第三者評価機関  
認証第2411-001号

## 受審から結果公表までの流れ



## 第三者評価の評価項目について

保育・高齢・障害分野は県内全域共通の評価項目を用います  
 障害者グループホームは神奈川県独自の評価項目を用います

<当会独自の評価項>

<オプション>

発展的評価項目・課題抽出項目があります

## 調査料金について

☆保育・高齢・障害・保護分野	400,000円	(消費税別)
☆障害者グループホーム	300,000円	(消費税別)
☆社会的養護関係施設	280,000円	(消費税別)
※横浜市所管社会的養護施設	550,000円	(消費税別)

### 《体験談》 第三者評価を受審して

ル・リアンふかみ 施設長 小泉 昇（大和市）

当施設は2015年度と2018年度の2回、第三者評価を受審しました。受審の動機は、施設内の不適切と思われる介護や苦情の増加などの改善が目的でした。受審にあたり職員間で提供する介護の自己評価を行い、第三者評価機関とのやり取りの中で、日頃の介護の在り方や質の向上に向けた取り組みについて、多くの気づきがありました。その結果、苦情件数が10分の1に減るなど、目に見える効果も生れました。

3年後は、職員の新規採用などもあり、施設内の介護サービスの状況を確認する意味で、同じ評価機関を選び、3年間の介護の質の把握と、さらなる改善を目的に受審しました。特に発展的評価では、施設内で発生している骨折事故の予防に対する取り組みを、職員自らがテーマに取り上げて検討し、PDCAサイクルの理解を深め、職員の自主性を育むことができました。

2回の受審を通して、職員の介護に対する気づきや、自ら改善に向かう積極的な姿勢が生れました。問題や課題を避けて通ることなく、職員自らが改善に気づき、次の取り組みに繋げることが大切と感じました。また、第三者評価では、日頃職員が一所懸命取り組んでいること、努力、工夫していることもアピールすることができ、受審する意義は充分あったと感じています。



ともにほほえむ

安心して老い、  
暮らし続けていくことのできる社会。  
ともに目指し、ともにほほえむ

公益社団法人神奈川県介護福祉士会

〒221-0825 横浜市神奈川区反町 3 丁目 17-2 神奈川社会福祉センター内 5 階

TEL045-319-6687 FAX045-322-6678

info@kanagawa-accw.org